

1820年、交響曲第9番を作曲中のベートーヴェンは弟子であるツェルニーの誘いにより1人の少年と出会う。その少年は当時、神童としてウィーンに名を馳せていた11歳のフランツ・リスト。ベートーヴェンにとっては孫弟子にあたる若き音楽家であった。

リストの演奏をことのほか気に入ったベートーヴェンは、演奏後に「君は幸福だ。そしてほかの人たちを幸福にするだろう。これほど結構なことはない」と伝えたという。リストはこの出来事を誇りに思い、後に9つの交響曲を全てピアノに編曲をするなどベートーヴェンを敬愛していた。生涯において作品に向き合い、ロマン派の礎を築いた二人の偉大な作曲家の軌跡を辿るプログラムに、気鋭のピアニスト長富 彩がいま挑む。

長富 彩 (ピアノ) Aya Nagatomi, Piano

1986年生まれ。2002年、東京音楽大学付属高校ピアノ演奏家コースに特待生奨学金を得て入学。2005年よりハンガリー国立リスト音楽院にてバルトークやリストの研究者で世界的に著名なジョルジュ・ナードルに師事。2008年より米国に拠点を移して演奏活動を開始。同年、ニュージャージー州・プリンストン大学でのシンポジウムに奨学生として参加し、エドナ・ゴランスキーにタープマン奏法を学ぶ。2009年、NYのスタインウェイホールにてリサイタルを行い満席となった。

これまでに日本コロムビアより3枚のアルバムをリリース。3作目にあたる『レゾナンス-ホロヴィッツ・トリビュート』では、ホロヴィッツが恋したと言われる銘器スタインウェイ《CD75》をレコーディングに使用。『レコード芸術』誌において特選盤に選出された。2014年11月にはYouTubeで200万再生を超えた「ラ・カンパネラ」を含むDVD『AYA NAGATOMI in CONCERT』をテレビマンユニオンレーベルよりリリース。月刊『Stereo』誌にて特選盤に選ばれる。2016年12月にキャリア初となるベートーヴェン単独の作品集『Aya Nagatomi plays Beethoven』をリリース。

これまでに上海クアルテット、ウェールズ弦楽四重奏団ほか、数々のソリストとも室内楽で共演。神奈川フィルハーモニー管弦楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、大阪交響楽団とピアノ協奏曲を演奏、好評を博している。近年は作曲家の生涯を題材にした講座形式のコンサートを行うなど、演奏活動と並行してクラシックをより多くの人に届けるための活動も行っている。

HP : <http://www.ayanagatomi.com>

Facebook : <https://www.facebook.com/PF.AyaNagatomi>



©井村重人

大作曲家の生涯を辿る、キャリア初となるベートーヴェン作品集 Aya Nagatomi plays Beethoven

ピアノ:長富 彩



収録曲 ベートーヴェン作曲

1. ピアノソナタ 第8番 ハ短調 作品13「悲愴」
2. 創作主題による32の変奏曲
3. ピアノソナタ 第30番 ホ長調 作品109

収録:2016年7月7-8日
横浜市栄区民文化センター リリス

価格:3,000円(税込)

ご購入・お問合わせ
テレビマンユニオン (sales@tvu.co.jp)
※「送料無料」でご案内いたします。

制作/販売元:テレビマンユニオン

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック


宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)